



# さんにちだより

荒川区立第三日暮里小学校  
発行日 令和4年12月1日  
発行者 校長 末永 寿宣

## 12月号

学校目標  
考える子  
たくましい子  
思いやりの  
ある子

## 三日小の学芸会～心に響く最高のストーリー・一人一人が輝く晴れ舞台～

校長 末永 寿宣

三日小の学芸会が11月19日(土)に本校体育館で行われました。どの学年も見ごたえのある演目でした。ストーリーと子どもたちの一生懸命な姿に涙する保護者の方が大勢いらっしゃいました。子どもたちにとって、保護者の方々の激励が何よりの栄養です。あの時の感動をもう一度思い起こしていただくために、今月号では、学年ごとの名場面を写真(リハーサルも含む)と共に演目順にお届けいたします。ご家庭で振り返りにご活用下されれば幸いです。

### 2年生 / 「はじめの言葉」「ゆめどろぼうウンパッパ」

「ねえねえ、見て見て！こんなにたくさんのお客さんがいるよ！」から寸劇仕立てで「はじめの言葉」がスタートしました。「あ、そろそろ準備ができたみたいだよ！はじまり、はじまり～！」

ある町に夢どろぼうの親分と子分があらわれ、町の人々の夢を盗もうとしますが、全く夢を見ていないことがわかります。その原因は？学芸会の幕開けとなる2年生の演技、元気な歌声に会場から大きな拍手がおこりました。



### 5年生 / 「魔法をすてたマジョリン」

人間の村で魔法の実習を行うマジョリンは、村人との出会いで、心に大きな変化があらわれます。大道具や小道具、衣装も自分たちで作りました。照明や道具の移動など、裏方の仕事もこなしました。会場の手拍子も演出に加え、大いに盛り上げてくれました。



### 3年生 / 「そんごくう」

天空を目指す一行の前には、強くて悪い敵が立ちはだかります。仲間と力を合わせて勇敢に戦うシーンは圧巻でした。3年生全員が元気いっぱい歌い踊る姿に、会場から「おーすごい！」という言葉が聞こえてきました。





### 1年生 / 「おたまじゃくしの101ちゃん」

疲れ果てたお母さんを思いやるおたまじゃくしたちの姿が、観客の涙を誘いました。最初から最後まで1年生らしい可愛い劇でした。

### 4年生 / 「少年少女冒険隊」



仲間と力を合わせ「本当の宝物」を見つける子どもたちの迫真の演技に会場から惜しめない拍手が送られました。子どもたちの歌と踊りは見事でした。照明係など、目立たないところでも力を発揮しました。

### 6年生 / 「夢から醒めた夢」「ゆうやけこやけ」「終わりの言葉」



生きることへの人間の葛藤を描いた名作に挑戦しました。小学校生活最後の学芸会にける子どもたちの思いは、一人一人の表情からひしひしと伝わってきました。

衣装・音楽・舞台背景とすべて自分たちで作りました。この仲間と一緒に過ごせる日々をかみしめながら、心をつにして演じる6年生の姿に、会場からは惜しめない拍手とともに、ハンカチで涙をぬぐう大人の姿がありました。

終わりの言葉では、6年生代表の児童が、立派にスピーチをしてくれました。「一人一人が自分のもっている力を出し切り、学芸会を成功させることができた」と振り返るとともに、あたたかく見守り、励ましてくれた先生方、保護者の方、地域の方への感謝の気持ちも伝えました。

最後に「卒業に向け、三日小の仲間と過ごす残り少ない日々を大切に、これからも前へ進んでいきたい」と、力強く決意していました。

これからも、三日小の子どもたちへご支援をお願いいたします。

